

地域子ども教室推進事業案内

第17回 全国生涯学習フェスティバル 集え! 山陰・山陽子ども文化大使

山陰・山陽の国立青年の家のコラボレーションによる地域子ども教室推進事業を展開することにより、青少年の広域的な交流を促進し、郷土を愛する青少年の育成をめざします。

具体的には、江田島青年の家に集った山陽の青年ボランティアと子どもたちが、三瓶青年の家に集った日本海沿岸地域の青年や子どもたちと、鳥取県で開催の全国生涯学習フェスティバルやさんべ祭などに参加したり、様々な文化体験学習を行ったりすることにより、交流を図るプログラムを実施します。

期 日 平成17年10月8日(土)～10日(月・祝) 2泊3日
会 場 第17回全国生涯学習フェスティバル会場(鳥取市) 国立三瓶青年の家 国立江田島青年の家
対 象 <スタッフ>運営ボランティア <参加者>小学3年生以上の児童生徒
募集人数 <スタッフ>30人(各青年の家15人) <参加者>80人(各青年の家40人)



生涯学習のマスコット「マナビ」

青少年ドリームプラン えたじま・キャリア・プランニング

これからどう生きていくか
考えてみませんか?

第1回 9月24日(土)～25日(日) 1泊2日

第2回 10月29日(土)～30日(日) 1泊2日

第3回 11月19日(土)～20日(日) 1泊2日

会 場 国立江田島青年の家
対 象 中学生、高校生
募集人数 100人程度

講演

RCC中国放送
アナウンサー
桑原しおり先生



講演

松本 零士先生



講演

宇宙航空研究開発機構
宇宙教育センター長
的川 泰宣先生



えたじまプレイスクール

～素敵な指導者に学ぶドッジボール教室～

期 日 平成17年11月26日(土)～27日(日) 1泊2日
会 場 国立江田島青年の家
対 象 小学生児童(地域のドッジボールクラブまたは学校のチーム単位で申し込んでください)
募集人数 100人程度

未来の日本を創る心豊かでたくましい子どもを社会全体で育むため、優れた指導者による小学生ドッジボール教室を開催し、子どもたちにドッジボールの楽しさ、チームワークの大切さを学んでもらうとともに、週末の子どもの居場所(活動拠点)を提供します。

青少年ボランティア活動推進者セミナー2005 テーマ「関わりをつくり 深め 広げる ために」～施設から 地域へ 地球へ～

推進者も青少年ボランティアも人や組織、活動との関わりの中で育ち合います。自らの体験を振り返り、さらに関わりをつくり、広げるためのマネジメント力、コーディネーター力などのスキルアップを共に図りましょう。

期 日 平成17年12月9日(金)～11日(日) 2泊3日
会 場 国立江田島青年の家
対 象 ●青少年教育施設職員(施設ボランティアを育成している職員)●市町村職員(青年ボランティアを育成している職員)●青年の家等の施設ボランティアでボランティア経験の長い者 ●青少年のボランティアとの関係づくりを求めるNPOセンターやNPO、企業等の関係者
募集人数 50人
参加費 6,000円(シーツ代、食費、情報交換会等の実費)※江田島青年の家までの交通費は当方で負担いたします。



地域子ども教室推進事業報告

えたじまプレイスクール

～素敵な指導者に学ぶサッカー教室(第1回)～

平成17年7月2日(土)～3日(日)

今回は小学生のサッカー少年団チームを対象に、広島市で活躍されている指導者によるサッカー教室を開催しました。

土曜・日曜両日共に雨天でしたが、1日目は体育館でのフットサルやビデオでの学習、2日目はゲームを中心に新しい練習方法を学びました。

参加者は、ビデオで学んだフェイントやパスをゲームで活かそうと、雨の中でもプレーに熱中していました。

えたじまプレイスクール アスピリット・キャンプ

～喘息やアレルギーの子どものためのキャンプ(第1回)～

「アスピリット」とは、喘息(Asthma)とアレルギー(Allergy)の頭文字「A」に、快活な元気を意味する「Spirit」を合わせ、喘息やアレルギーなどの子どもたちが、「あずはピリットと元気になるように」という願いを込めて名付けられたものです。

平成17年7月9日(土)～10日(日)

喘息やアレルギーなどの子どもが、安心して自然にふれたり、体験活動を行ったすることで、同じ悩みをもつ子ども同士の相互理解を深めることを趣旨に、平成17年7月9日(土)から10日(日)まで1泊2日で第1回の新アスピリット・キャンプが国立江田島青年の家で行われました。

初日は雨のため、室内ゲームで交流を深めました。2日目は、紙芝居「夢屋」の中村由利江さん(国立江田島青年の家ボランティアコーディネーター)の紙芝居を見たあと、自分たちで物語を考え紙芝居を作りました。保護者同士の交流会もあり、充実したキャンプになりました。

進路の道コーナー



江田島青年の家の本館2階には、大学や専門学校などの案内を閲覧できる「進路の道」というコーナーを設置しています。江田島青年の家の利用者の皆さんが、自分の進むべき道を見いだす一助となれば幸いです。

案内は随時、新しいものを揃えておりますので、研修の合間にお気軽にご利用ください。

こんにちは

「空と海と緑にかこまれて」

広島大学から参りました森川泰彦と申します。江田島青年の家に来て2年目に入りました。

デスクワークに留まらず、利用者の方に安全かつ快適に過ごしていただくため、種々の業務に日々汗を流しています。青年の家を利用される皆さんにとってここで過ごす数日間が最良のものとなるよう願っております。どうぞよろしくお願いいたします。



事業課業務係長 森川 泰彦

ご利用案内

日帰りやご家族での利用もできます。

利用申込み方法

- 1 仮予約** 電話等によるお問い合わせ(その他、FAX・Eメール等でも可能です)
★ご利用予定日の1年前から仮予約ができます。
★まずはご希望の期日・期間、人数等で利用できるかどうかをお尋ねください。
★ご利用に関するガイドブック等の資料をお送りします。
★日程が他団体と重複した場合には、調整させていただく場合がありますのでご了承ください。
- 2 資料到着** 送付された資料を参考に計画をご検討ください。
★「どんな活動をしようか?」「どこを使おうか?」など
- 3 申込書提出** 用紙はガイドブックに添付してあります。
★郵便またはFAX等で3ヶ月前までに必ずお送りください。
★「利用申込書」に必要事項を記入して提出してください。
★講義等をご希望される場合は必ず「講義指導依頼書」をお送りください。
★「利用者名簿」は入所日までに提出してください。
★利用者を公募されて使用する場合は、開催要項を事前に提出してください。

- 4 ご利用計画確認** 活動の内容や希望施設が他団体と重複した場合には、場所の調整をさせていただきますのでご了承ください。
★ご利用予定日の約1週間前に「利用の承諾書」を団体責任者宛にお送りします。
★貴団体と他団体の利用計画を調整したプログラム(調整プログラム)を約3週間前までに団体責任者宛にお送りします。
★プログラムや利用者数に変更があれば、お早めに電話でご連絡ください。
★特に食事数については、普通食が前日の17:00まで、野外炊事の場合は3日前の16:00までが変更可能です。
- 5 ご利用当日** 気を付けてお越しください。
★引率責任者の方は事業課で入所手続きを行います。
★他の方々はオリエンテーション会場にお入りください。

宿泊料
施設使用料
無料

必要な経費

シーツリース代等……160円
 食費(3食)……1,600円
 (内訳 朝食400円・昼食550円・夕食650円)

職員紹介コーナー